

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成26年度第2回 理事会 議事録

〔開催日時〕：平成26年4月16日（水曜日）13：30-15：00

〔開催場所〕：ウェスティン都ホテル京都 2階「吉水」

〔出席した理事〕：持田譲治、中村博亮、川上守、徳橋泰明、小森博達、紺野慎一、井口哲弘、加藤真介、加藤義治、川上紀明、高橋和久、橋本友幸、長谷川徹、平林茂、松山幸弘、米和徳

〔出席した監事〕：小西宏昭、佐藤哲朗

〔議事の経過の要領及びその結果〕

持田譲治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

1 第1号議案 3月の新入会・退会について

加藤義治理事が、3月の新入会・退会について、理事会の決議を求め、全員承認された。

2 第2号議案 専門医試験用問題集作成の件

中村副理事長が、専門医委員会としては南江堂に委託したいと考えるが、理事会の決議を依頼したいと発言した。

一同検討の結果、承認した。

3 第3号議案 登記に記す事務局移転の日について

小森理事が、今回の評議員会で事務局所在地を移転することについて議題を提出しており、承認されれば登記することと移転日を2014年4月17日とすることを提案し、一同検討の結果承認した。

審議・報告事項

1 脊椎専門医制度進捗状況

中村副理事長が、評議員会にも提出予定の平成25年度委員会活動を報告した。

2 指導医新規申請に対する評議員による評価方法について

橋本理事が、新規指導医申請者に対して今年度は評価方法を大きく変えることができないので、評価人に自分から連絡することなどを徹底させる予定であることを説明した。

3 評議員会の式次第の確認

小森理事が、16：15からの評議員会について式次第を説明し、全員で確認した。

4 安全医療推進委員会より追加調査について

井口理事が、安全医療推進委員会で進めていた全国調査について、2011年にJSR誌投稿し、このたびJOS誌にも投稿したが、JOS誌の倫理委員会からの指摘を受け、山口大学倫理委員会での審議の必要が生じていると説明した。

5 その他

高橋理事が、日本脊椎脊髄病学会主導により全国137施設が参加した、脊椎脊髄疾患に伴う神経障害性疼痛の頻度及び特徴についての調査結果を、JOS誌 (JOrthop Sci (2014) 19:15-21)に投稿し掲載された旨を報告し、全文を紹介した。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以上

平成26年4月16日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監事 小西 宏 昭

監事 佐藤 哲 朗